

令和5年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会 小児・AYA部会 議事要旨

日 時：令和5年7月19日（水） 15：00～16：20

場 所：WEB会議

構 成 員：19名

出 席 者：9名

比嘉猛(南部医療センター・こども医療センター小児科)、屋宜孟(南部医療センター・こども医療センター小児血液・腫瘍内科)、山本真充(南部医療センター・こども医療センター小児看護専門看護師)、岩崎政志(森川特別支援学校)、金城正樹(沖縄県教育庁保健体育課)、金城敦子(がんの子どもを守る会 沖縄支部)、宮平有希子(がんの子どもを守る会 沖縄支部)、外間早紀子(沖縄県保健医療部健康長寿課)、増田昌人(琉大病院がんセンター)

欠 席：10名

大畑尚子(中部病院血液・産科)、伊良波史朗(南部医療センター・こども医療センター放射線科)、中里哲郎(南部医療センター・こども医療センター血液・腫瘍内科)、浜田聡(琉大病院小児科)、銘苺桂子(琉大病院産婦人科)、比嘉泉(琉大病院看護師)、崎間恒哉(沖縄県教育庁県立学校教育課)、森島聡子(琉大病院第二内科)、當銘保則(琉大病院整形外科)、佐久川夏実(南部医療センター・こども医療センターCLS*休職中)、

陪 席 者：2名

有賀 拓郎(琉大病院 診療情報管理センター)

石川 千穂(琉大病院 がんセンター)

【報告事項】

1. 令和5年度 第1回小児・AYA部会 議事要旨(5月22日)

増田委員より、資料1に基づき説明があり、承認された。

2. 小児・AYA部会 委員一覧

増田委員より資料2に基づき、委員について報告された。新委員として、がんの子どもを守る会沖縄支部副代表の宮平有希子さんが加入した。

【協議事項】

1. 第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会案）について

増田委員より、資料3に基づき説明があった。国のロジックモデルと指標に大幅な変更があったため、そちらをキャッチアップしていることと、そのために事前にメールで頂いた意見や提案をまだ反映できていないことが説明された。本日は新たな意見は特に出なかったが、引き続き、提案等があれば連絡をお願いしたいとのことだった。

2. 今年度の部会活動計画について

増田委員より、当日資料、今年度の部会活動計画(案)についての説明があり、今年度の活動内容について意見や提案はないかと確認があった。以下、意見や状況のまとめ。部会終了後も、提案等はメールでも受け付けるとのことだった。

- 個別施策「小児がん患者を、速やかに琉大病院または県立こども医療センターに紹介する」は、いずれかの病院に紹介されている状況は満たしている。(比嘉委員)
- 個別施策「小児患者に対して最新の知見に基づく臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施する」、「小児がんに対して、患者に対して晩期合併症の検索も含めて、長期フォローアップを行う」については部会でディスカッションが必要かと思われる(増田委員)
- 中間アウトカムにレスパイト施設等、サポートするための施設数を入れて頂きたい。(金城委員：がんの子どもを守る会)
- 増田委員から「がん教育」の部分はスムーズに進んでいるのか確認があり、保健体育課の金城委員より、高校の保健の授業では各学校の単元の中の一部にがんについて教える項目が学習指導要領のなかに設けられているとの回答があった。小学校の方は、「総合的な学習の時間」の中で行わなければならない等、高校よりはハードルが高いかもしれないとのことだった。
- 琉大と南部医療センター・こども医療センターの分校で授業を行っており、医療関係者と教員とで、保護者のフォローも含めた支援を行っている。治療のスケジュールや体調などの関係により個々の受講状況に差はあるようだ。(岩崎委員)
- 外部人材の活用というところが、依頼先をどうするかということと、コロナの状況の中で外部から人を呼ぶことが困難な状況ではあった。(金城委員：教育庁保健体育課)
- 南部医療センター・こども医療センターでは、森川の先生が中心になって、退院時に復学に関するカンファレンスを原籍校の先生や保護者と共に行っており、かなり有用に感じるので、その部分を充実させていければ。(山本委員)

3. アピランス支援モデル事業について

増田委員より資料 5 に基づき、令和 5 年度アピランス支援モデル事業公募に琉大病院が、選ばれたことが報告された。具体的には、本島内、宮古、石垣の方で医療者向け研修会と、患者向けの勉強会を行う予定である。また、アピランスケア研究を積極的に行っている資生堂や地元美容業界にもご協力頂く予定であることが説明された。

4. 『おきなわ 小児がん相談支援マニュアル』の改訂について。

増田委員より、資料 6 の、以前メールで行ったアンケートの結果についての説明と、がんサポートハンドブックの中に、4 ページ程度、小児がん部門を充実させる方向でまとまりつつあることが報告された。

5. 『小児がん経験者のための健康管理応援ガイド』の取り扱いについて

金城委員より、資料 7 と「がんの子どもを守る会」の HP に基づき、みんなの健康管理サイトに関する説明があった。『小児がん経験者のための健康管理応援ガイド』を事務局の方で一括で取り寄せ、南部医療センター・こども医療センターと琉大病院で配布することとなった。

6. 『がんと告知された小児・AYA 世代の方がまず始めに手に取るパンフレット』の取り扱いについて

増田委員より、資料 8 に基づき、『がんと告知された小児・AYA 世代の方がまず始めに手に取るパンフレット』の紹介があった。事務局でパンフレットを取り寄せ、南部医療センター・こども医療センター及び、各拠点病院、AYA 世代を診ている施設へ発送する。

4. 次回開催

3 カ月後を目処に、事務局よりアンケートで日程調整を依頼する予定。

以上